

高校総体 報告会 校長挨拶

高校総体お疲れさまでした。6月とは思えないほどの寒さの中、皆精一杯戦ったのだと思います。全ては無理でしたが、可能な限り会場に足を運び、皆さんの姿を見ました。

生成 AI が瞬時に答えを出すような今の時代の中で、「体験と感情」ほど大切なものはありません。点数を取って、ハイタッチした手の感覚、矢を放つ前の緊張、悔しさや後悔。皆さんたちが味わった喜びや悔しさは、今、この瞬間にしか味わうことができないものです。きっとこの後もずっと心に残って、皆さんたちの人生を支える糧となるのだと思います。

主に3年生に対して少しだけ話をさせてください。

3年生の皆さん。多くの方はここで引退ですね。よく頑張りました。今まで部活動を支えてくれた、親や顧問、コーチ、何より仲間をしっかり感謝を伝えて、切り替えて次に進んでください。

文化部の皆さんはこれからですね。コンクールで引退の部活もあると思いますし、文化祭が3年生最後の活躍の場の部活もあるのだと思います。文化部活動は青森東高校の大きな特徴の一つでもあります。残りあと少し。それぞれの場で、精一杯の活動をしてください。

それから、部活動に所属していないあるいは、途中でやめた皆さん。部活だけが全てではありません。私は高校時代テニス部に入っていましたが、3年の4月に部活を辞めました。後2か月我慢すればよかったのに、その2か月がその時の私には耐えられませんでした。自分が出られなかった高校総体の壮行式をなんとも言えない気持ちで見つめていたことを今でも鮮明に覚えています。そのとき「部活動の代わりに、何かを懸命に頑張ってみよう」と決意しました。決心してから誰にも負けないくらい勉強もしました。文化祭にも本気で取り組みました。全力で片思いもしました。今でも時々、あの時を思い出します。高校3年生の1年間は今でも私の努力の基準です。あのときあれだけ頑張れたのだから、また頑張れると思って過ごしてきました。長い年月を過ごしてもあの1年以上の時間は巡ってはきませんでした。

かけがえのない今の時間の意味を皆さんたちは20年後、30年後に知るのだと思います。3年生の皆さんにとって、明らかに今日が1つの区切りの日です。部活動をしていた人も、そうでない人も、卒業までのあと数か月、何かを決意して精一杯進んでください。

新聞に載らなくても、賞状をもらえなくても、各会場で見た、はじけるような笑顔や、悔し涙を私はこの先も忘れないと思います。何より、皆さん自身が忘れないのだと思います。高校総体、本当にお疲れさまでした。ここから東北大会、インターハイに進む選手はどうか最後まで精一杯戦ってきてください。応援しています。